

市政執行方針 教育行政執行方針

積極的にPRするとともに、全市観光を展開するにあたり、地域全体の観光マネジメントを一体的に行うDMOの設立に向けた民間団体の取り組みに対して、協力していきます。

広域連携による情報発信

誘客については、西胆振圏域の訪日外国人宿泊客延数のさらなる増加を図るために、北海道登別洞爺広域観光協議会等の広域連携などによる国外の誘客活動に取り組み、平成30年度は、中国北京市や台湾台中市などへ、誘客増強のためのトップセールスを実施していきます。

そして、北海道内で、訪日外国人宿泊客延数上位3位を占める札幌市、登別市、函館市の3市がそれぞれの強みを生かし、3市を結ぶルート『北海道ドラマティックロード』と名付け、観光客の流動性を高める広域連携事業を行ってきましたが、今後さらなる誘客を図り、中長期的な活動を行うため、『(仮称)北海道ドラマティックロード推進協議会』を平成30年4月に設立し、観光客の記憶に残る旅行商品造成などを促進するとともに、国外へのトップセールスを新たに検討していきます。

さらに、平成29年10月に北海道を中心に西胆振3市3町と白老町で構成する『西胆振日本遺産推進会議』が発足し、アイヌ語地名と景勝地など、アイヌ民族の文化をテーマにした西胆振の魅力をと

りまとめてきました。

日本遺産の認定は、西胆振のさらなる魅力を発信し、アジアに限らず、欧米なども視野に入れながら、これまで以上に観光客呼び込み、地域活性化に繋げるとともに、将来的には民族共生象徴空間と連動した地域の魅力を発信できるものですので、日本遺産認定に向けた西胆振を構成する自治体として、取り組んでいきます。

また、観光地経営の視点に立ったDMOについては、現在、登別商工会議所が主体となり、成功事例の情報収集や活動内容の分析を行うとともに、登別にふさわしい観光まちづくりや経営手法、組織収益事業などの方向性等の調査研究が行われていることから、DMO設立に向けて協力していきます。



▲▲登別地獄谷や知里真志保の碑など、西胆振の魅力をとれまとめた『西胆振日本遺産推進会議』

景観美化

美しい景観は、市民の心を豊かにするとともに、多くの観光客の心にも訴えかけ、地域の価値の向上に繋がる効果が期待されるものと考えます。

国は地域と行政が連携しながら、景観や自然環境に配慮し、地域の魅力を道で繋ぎながら観光やまちづくり、景観づくりの活動を行う『シーニックバイウェイ』の取り組みを推進しており、当市を含む胆振・日高圏域は自然豊かで魅力ある景観を有することから、その魅力を観光に結び付けられるよう、沿道美化の取り組みなどを通し、引き続き沿道の自治体や関係団体などと協議を進めていきます。



▲市内ではさまざまな団体が沿道美化への取り組みを行っている

交通安全への取り組み

近年の旅行目的の多様化により、レンタカーなどを使用した外国からの個人旅行者が増加していることから、安全な観光旅行を楽しんでいただけるよう、中国語や韓国語、英語などの多言語の交通安全



▲外国人観光客に向けたハンドプレート

全旗とハンドプレートを掲げた、人と旗の波街頭啓発運動による注意喚起を行うなど、命の大切さについて、広域連携の場で、その必要性和重要性を声を大にして訴えていきます。

旧国立登別病院の跡地の取得

観光地としての受入環境整備の一つとして、登別温泉地区にある旧国立登別病院の跡地については、北海道財務局との協議が整いましたので、今議会に取得のための提案をしているところである。

取得後については、駐車場などの観光に資する活用に努め、観光客などの利便性の向上を図っていきます。

中小企業の活動支援

地域経済の持続的な発展を図るためには、多くの中小企業などの事業活動や創業への支援、商店街の活性化によるにぎわいの創出、産業や業種を超えた連携の推進など、多様な産業を担う中小企業の活動の活性化がますます重要となります。

地域経済の振興に関する取り組みについては、『登別市中小企業地域経済振興

